

作成日：2009年09月09日  
改訂日：2017年10月30日

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：メチレンクロライド

製品番号(SDS NO)：5300001-5

供給者情報詳細

会社名：三和化学産業株式会社

住所：愛知県名古屋市中熱田区伝馬一丁目10番地16号

担当部署：港工場 技術部

電話番号：052-681-5311

FAX：052-681-5315

緊急連絡先電話：052-661-5221(港工場)

### 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分 4

皮膚腐食性及び刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

環境有害性

水生環境有害性(急性)：区分 3

(注)記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

水生生物に有害

注意書き

安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

#### 応急措置

- 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
- コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 貯蔵

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること。

#### 廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択:

混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管法政令 番号	化学式
ジクロロメタン	99%	75-09-2	1-186	CH <sub>2</sub> Cl <sub>2</sub>
メタノール	< 1	67-56-1	-	CH <sub>4</sub> O
水	< 1	7732-18-5	-	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

ジクロロメタン, メタノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ジクロロメタン, メタノール

化管法「指定化学物質」該当成分

ジクロロメタン

### 4. 応急措置

#### 応急措置の記述

##### 吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
- 呼吸困難のときは酸素吸入を行う。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

- 溶剤、シンナーを使用してはならない。
- 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
- 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

**眼に入った場合**

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

**飲み込んだ場合**

口をすすぐこと。

意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

**応急措置をする者の保護**

適切な換気を確保する。

適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。

---

**5. 火災時の措置****消火剤****適切な消火剤**

周辺設備に適した消火剤を使用する。

**特有の危険有害性**

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

**消火を行う者への勧告****特有の消火方法**

関係者以外は安全な場所に退去させる。

安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護する。

**消火を行う者の保護**

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

---

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

**環境に対する注意事項**

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

**二次災害の防止策**

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

**注意事項**

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

換気の良い場所で取り扱う。

**安全取扱注意事項**

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

- 保護手袋を着用すること。
- 保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- 取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。
- 取扱中は飲食、喫煙してはならない。
- 配合禁忌等、安全な保管条件
- 適切な保管条件
  - 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
  - 施錠して保管すること。
- 容器包装材料
  - 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
  - ブリキ製(20kg)、鋼製(250kg)

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(メタノール)

作業環境評価基準(1995)  $\leq 200$  ppm

(ジクロロメタン)

作業環境評価基準(2004)  $\leq 50$  ppm

#### 許容濃度

(メタノール)

日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup> (皮)

(ジクロロメタン)

日本産衛学会(1999) 50ppm; 170mg/m<sup>3</sup>; (最大値) 100ppm; 340mg/m<sup>3</sup> (皮)

(メタノール)

ACGIH(2008) TWA: 200ppm

STEL: 250ppm (頭痛; 眼障害; めまい; 吐き気)

(ジクロロメタン)

ACGIH(1997) TWA: 50ppm (一酸化炭素ヘモグロビン血症; 中枢神経系損傷)

注釈(症状、摂取経路など)

(メタノール)

皮膚吸収

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

手洗い/洗顔設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

(有機ガス用防毒マスク、送気マスク)

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

(不浸透性もしくは耐化学品ゴム)

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

(不浸透性の保護衣と保護長靴)

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状：液体

色：無色透明

臭い：芳香臭

pH：データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点：40.2°C

融点/凝固点：-95.14

引火点：適用外

自然発火温度：662°C

爆発特性：引火又は爆発範囲

下限：14vol %

上限：22vol %

蒸気圧：46,500(20 °C)

相対蒸気密度(空気=1)：2.9

比重/密度：1.326g/cm<sup>3</sup>(25°C)

n-オクタノール/水分係数：log Pow1.25

---

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性

安定性が高く、乾燥状態では290°Cでも空気による酸化や熱分解は受けない。

少量の溶解水は100°C以下ではほとんど影響しない。

危険有害反応可能性

過剰の遊離水が存在すると60°Cで加水分解が認められ、金属を腐食する。

180°Cで水と長時間加熱するとギ酸、塩化メチル、メタノール、塩酸や一酸化炭素等を生成する。

混触危険物質

強酸化剤、強塩基、水、アルカリ金属、金属粉末との接触

危険有害な分解生成物

塩化水素、ホスゲン等の有害ガス

---

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

human LD50=ca. 1400 mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(ジクロロメタン)

rat LD50=1600 mg/kg (環境省環境リスク第2巻, 2003)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

区分外 rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOTvol.16, 2001)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

区分外 vapor :rat LC50>31500 ppm/4hr (DFGOTvol.16, 2001)

労働基準法：疾病化学物質

メタノール; ジクロロメタン

## 局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

ラビット 中等度の刺激性 (CERI・NITE有害性評価書 No.15, 2004)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)

(ジクロロメタン)

ラビット 中等度ないし重度の炎症 (CERI・NITE有害性評価書 No.15, 2004)

感作性データなし

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

(ジクロロメタン)

発がん性

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン)

IARC (1999) Gr.2B et al

(ジクロロメタン)

IARC-Gr.2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある

(ジクロロメタン)

ACGIH-A3(1997): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(ジクロロメタン)

日本産衛学会-2A: 人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分な物質

(ジクロロメタン)

EU-発がん性カテゴリ2; ヒトに対する発がん性が疑われる物質

労働基準法: がん原生化学物質

ジクロロメタン

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

(メタノール) cat.1B; mouse: PATTY 5th, 2001

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン) 中枢神経系、呼吸器 (CERI・NITE有害性評価書 No.15, 2004)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン) 麻酔作用 (CERI・NITE有害性評価書 No.15, 2004)

(メタノール) 麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジクロロメタン) 中枢神経系、肝臓 (CERI・NITE有害性評価書 No.15, 2004)

吸引性呼吸器有害性データなし

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生毒性

水生生物に有害

#### 水生毒性(急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

甲殻類(ブラインシュリンプ) LC50=900.73 mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(ジクロロメタン)

甲殻類(オオミジンコ) LC50=27 mg/L/48hr (CaPSAR, 1993)

#### 水溶解度

(メタノール)

100 g/100 ml (PHYSPROP Database, 2009)

(ジクロロメタン)

1.3 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2012)

#### 残留性・分解性データなし

#### 生体蓄積性

(メタノール)

log Pow=-0.82/-0.66 (ICSC, 2000)

(ジクロロメタン)

log Pow=1.25 (ICSC, 2012); BCF=40(Check & Review, Japan)

#### 土壌中の移動性データなし

#### オゾン層破壊物質データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

### 汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号、国連分類

番号 : 1593

品名(国連輸送名) :

ジクロロメタン

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 6.1

容器等級 : III

指針番号 : 160

### 特別の安全対策

・取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。

・堅ろうで容易に変形、破損しない容器に入れて輸送する。

・運搬に際しては、容器の漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。

・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運搬方法に従う。

・船舶安全法に定めるところに従う。

- ・航空法に定めるところに従う。
- ・移送時にイエローカードの保持が必要。

---

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

### 労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

ジクロロメタン

有機溶剤中毒予防規則に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

ジクロロメタン(別表第9の257); メタノール(別表第9の560)

名称通知危険/有害物

ジクロロメタン(別表第9の257); メタノール(別表第9の560)

健康障害防止指針公表物質(法第28条第3項)

ジクロロメタン

### 化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

ジクロロメタン(99%)(1-186)

消防法に該当しない。

### 化審法

優先評価化学物質

メタノール(政令番号90 人健康影響)

### 大気汚染防止法

有害大気汚染物質/優先取組(中環審第9次答申)

ジクロロメタン

特定物質(政令第10条)

メタノール

### 船舶安全法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

### 航空法

毒物類 毒物 分類6 区分6.1

### 廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物:特定有害産業廃棄物

ジクロロメタン

### 土壌汚染対策法

第一種特定有害物質 揮発性有機化合物

ジクロロメタン

### 水質汚濁防止法

有害物質

ジクロロメタン

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN  
2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)  
2017 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
JIS Z 7253 (2012年)  
Supplier's data/information  
原料メーカー発行SDS



#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。